

令和2年度第2回契約監視委員会

【 議事要旨 】

令和3年3月
独立行政法人中小企業基盤整備機構

- I. 日 時 令和3年3月4日（木） 15：00～16：45
- II. 場 所 Web会議Teams利用
- III. 出席者 （委員）内田（海）委員長、内田（清）委員、岡野委員
戸田委員、千田委員
（機構）小出財務担当理事
松宮財務部長、清水監査統括室長、早川監事室長

【議事概要】

1. 審議事項及び審議事項

(1) 審議事項

①令和2年度（4月～12月）契約の一者応札案件

今回の審議対象期間（令和2年度上期）の契約案件のうち一者応札・応募となった10件の案件について、点検・審議した。

（※個別案件の審議概要は（別紙1）参照。）

②上記①に関連して、中小機構の一者応札・応募改善への取組について、点検・審議した。

（※審議概要は（別紙1）参照。）

(2) 報告事項

①令和2年度契約監視委員会（第1回）の意見等に対する検討・対応状況

②令和2年度（4月～12月）公益法人に対する支出の点検について

③平成2年度中小機構調達等合理化計画（4月～1月）実績

—以上—

○個別案件の審議概要

<p>【令和2年度「被災事業者販路開拓支援販売会及びテストマーケティング事業等」の開催に係る業務請負】</p>
<p>主な意見</p>
<p>・コロナ禍での事業なので、不可抗力による中止時の免責を取り入れる等、応札しやすい環境を整備すべきである。</p>

<p>【「令和2年度補正予算 小規模事業者持続化補助金（コロナ特別対応型） 【商工会議所地区】に係る補助金支払に係る支払情報の確認等業務】</p>
<p>主な意見</p>
<p>・新型コロナ対策の補助金の支払業務であり緊急契約が必要な案件であったことから特命随意契約等調達方式についての検討が必要であった。</p>

<p>【中小企業基盤整備機構事務管理センター中央監視制御装置保守点検業務】</p>
<p>主な意見</p>
<p>・保守点検業務は設置装置の業者または代理店でないと応札が難しいのであれば、設置装置業者や代理店への前広な声かけが必須である。 ・今回初めて一者応札となったので、仕様の問題があるとは認識していなかったとのことだが、仕様について事前の検討を十分にすべきである。</p>

<p>【財務会計処理システム等に係る運用保守業務 (令和2年9月～令和4年7月)】</p>
<p>主な意見</p>
<p>・システム改修が仕様に含まれていれば、今回の調達も事前確認公募で実施できたと思料する。 ・既存システムの運用に関する事前確認公募のあり方について検討すること。</p>

【法人文書ファイル管理簿公開システムの導入及び運用等業務】

主な意見

- ・発注側のスケジュールを優先すると、受注側の都合に合わないことがあるので留意すること。

【「ヒットをねらえ！地域のおすすめセレクション2021」に係る業務請負】

主な意見

- ・リアルとオンラインの併催は合理的だが、両方に対応する事業者が少ないのであれば、リアルは機構直営、オンラインを外注するなどの検討が必要である。
- ・リアル、オンライン両方を外注するのであればJVでの請負について検討し、可能であれば公告に明示すべきである。

【統合データベースに係る企業データ提供業務（令和2年度）】

主な意見

- ・この分野は2者しかないので、この2者以外から調達することは不可能に近い。両者とも激しく競争しているので意向確認等リサーチは必要である。

【令和2年度ながさき出島インキュベータにおける電力量計等交換工事
令和2年度くまもと大学連携インキュベータにおける電力量計等交換工事
令和2年度賃貸施設における電力量計交換工事（福岡）】

主な意見

- ・入札資格に元請要件が記載されているが、調達内容を勘案すると本要件の条件緩和の検討が必要と思料する。
- ・地元の電気設備業者等へ前広に声かけをすべきである。

【内田委員長講評】

内田委員長：

本日10件の案件を議論した。コロナ禍の影響も出ているが、あと一步踏み込んだ検討が行われていれば、一者応札を回避できる案件もあったと認識している。委員会の指摘事項も含めて実施すること。過去は複数応札のあった案件でも、内容が不十分だとすぐに一者応札になってしまうので、仕様書や応札条件等について十分な吟味を行うこと。

【報告事項】

- ・ 令和2年度契約監視委員会（第1回）の意見等に対する検討・対応状況
特段の意見なし
- ・ 令和2年度(4月～12月)公益法人に対する支出の点検について
該当なし
- ・ 平成2年度中小機構調達等合理化計画（4月～1月）実績
資料に基づき事務局から報告を実施。

以上